

〔科目名〕 経済演習 II				〔単位数〕 4単位		〔科目区分〕 演習科目	
〔担当者〕 青山 直人 Aoyama, Naoto						〔授業の方法〕 演習	
〔演習テーマ〕 環境経済学の基礎的な内容を取り上げ、環境経済学の基本としくみについて学びます。							
〔演習内容〕 私たちは、大気や水、土壌などの汚染問題から酸性雨問題、地球温暖化問題やオゾン層の破壊問題、廃棄物問題、原生林や生物多様性などの自然保護の問題、景観の保全などの文化的ストックの問題等、様々な環境問題に直面しています。なぜ、環境問題が発生するのでしょうか。考えてみましょう。 本演習では、経済演習Iの内容を継続し、1. 環境問題発生の原因とメカニズム、2. 環境問題を解決するための対策、3. 環境の価値評価、4. 企業と環境問題、5. 地球環境問題と環境経済学、これらのテーマに沿って環境経済学の基本的な考え方を学びます。							
〔科目の到達目標〕 ・環境問題発生の原因と環境政策に関する経済理論を理解すること。 ・経済理論に基づいて環境問題や環境政策を考えることができるようになること。							
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕							
学部				学科			
DP1 ○	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2 ○	DP3 ○	
〔前提条件〕 「ミクロ経済学」「公共経済学」を履修済であること。「環境経済学」を履修すること。							
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 授業での報告と毎時間の提出課題をもとに総合的に評価する。							
〔教科書等〕 栗山浩一・馬奈木俊介著『環境経済学をつかむ 第5版』有斐閣、2024年。 その他、配布資料。							
〔実務経歴〕 該当なし							
授業スケジュール							
授業計画を以下に示す。ただし、受講者の理解度や関心によっては、授業スケジュールやその内容を変更する場合もある。							
時期	テーマと内容						
第1回 ～ 第3回	テーマ 私たちの生活と環境 unit1 経済発展と環境問題/unit2 ごみ問題と循環型社会/unit3 地球温暖化問題						
第4回 ～ 第7回	テーマ 環境問題発生メカニズム unit4 外部性と市場の失敗/unit5 共有資源の利用と管理/unit6 公共財とフリーライダー						

第8回 ～ 第12回	テーマ 環境政策の基礎理論 unit7 直接規制と市場メカニズム／unit8 環境税と補助金／unit9 直接交渉による解決／ unit10 排出量取引
第13回 ～ 第17回	テーマ 環境政策への応用 unit11 政策手段の選択／unit12 廃棄物政策／unit13 地球温暖化政策／ unit14 ナッジと環境政策
第18回 ～ 第22回	テーマ 環境の価値評価 unit15 環境の価値／unit16 環境評価手法1:顕示選好法／ unit17 環境評価手法2:表明選好法／unit18 費用便益分析
第23回 ～ 第26回	テーマ 企業と環境問題 unit19 企業の環境対策／unit20 企業に求められる社会的責任／unit21 企業と環境リスク／ unit22 生物多様性と生態系
第27回 ～ 第30回	テーマ 地球環境問題と環境経済学 unit23 国際貿易と環境／unit24 環境規制と技術進歩／unit25 持続可能な発展／ unit26 エネルギー経済